



吉川市立吉川中学校
2020年4月開校

春夏秋冬

「考える 蓄える 伝える生徒」
令和7年度 2月号



生徒数	2月2日現在
1年生	279名
2年生	253名
3年生	269名
合計	801名

〒342-0038
住所 吉川市美南 5-17-1
電話 048-984-7565

前へ 前へ

校長 伴野 忠

大寒を過ぎ今月4日は立春。まだまだ寒い日は続きますが、徐々に春の足音は近づいてきているところでしょうか。

今月6日からイタリア北部の都市ミラノとコルティナ・ダンペッツォで冬季五輪が開催されます。世界のトップアスリートがどのようなパフォーマンスを見せてくれるか、とてもワクワクしています。また、日本人の活躍も期待するところです。

その冬季五輪でどうしても忘れられない選手が1人います。それはスキージャンプの原田雅彦さんです。彗星の如く現れた原田さんは1992年のアルベールビル冬季五輪個人ラージヒルで4位となり、誰もが認める日本人トップクラスのスキージャンパーとなりました。そして迎えた1994年のリレハンメル冬季五輪。ここで事件は起きました。国を代表する4人のジャンパーが2回ずつ飛んで総合得点で競い合うスキージャンプ団体。原田さんは日本のエースとして最終ジャンパーを任されていました。日本を除くすべての国の2回目のジャンプが終わり、日本の金メダルはほぼ確実でした。しかし最終滑走の原田さんがまさかの重大失敗ジャンプ。ほぼ手が届いていた金メダルを逃してしまいました。

そのときの原田さんに対するバッシングはとても酷かったです。「お前のせいで負けた」「原田は終わりだ」など。1年以上自宅に嫌がらせもあったそうです。その後原田さんは長いスランプに陥ってしまいました。一生懸命やった結果なのだからしょうがない、なんとか立ち直ってほしいと当時の私は願っていました。

数年のスランプ後、原田さんは見事に復活します。なぜ復活できたのでしょうか。気持ちの持ちようが鍵だったそうです。そのときの心境は「自分は自分、人の真似ではなく自分のできることを極めればよい」ということだったそうです。また、大きかったのは奥さんの「自分らしく飛べばいいじゃない」という言葉だったそうです。引退後の回想の中で、原田さんはこう語っています。

チカラになった言葉は、

『努力する者は希望を語り、怠けるものは不満を語る』

兎に角人生は前を前を向いて行かないと。愚痴を言っている暇はない。反省を済まして兎に角前へ向かっていかないと。そういった姿勢が人生には必要なんですよ。不満を言っている場合じゃない、前に進まなきゃいけない、希望をもって生きなきゃいけない。

挫折から4年後の1998年長野冬季五輪。スキージャンプ団体で原田さんは劇的な金メダルを獲得したのは言うまでもありません。

吉川市教育大綱

「家族を 郷土を 愛し 志を立て 凜として生きてゆく」

毎日更新の「吉川中学校HP」を

ご覧ください。



吉中生の活躍

【 2月 の主な予定 】

- 4日(水) 全校集会 職業講座(1年)
- 5日(木) 実力テスト(1・2年) 専門委員会
- 6日(金) 学校運営協議会 新入生保護者説明会
- 16日(月)・17日(火) 学年末テスト(3年)
- 18日(水)・19日(木) 県公立高等学校志願先変更
- 20日(金) ふれあいデー
- 24日(火)・25日(水) 学年末テスト(1・2年)
- 26日(木) 県公立高等学校学力検査
※3年給食なし
- 27日(金) 県公立高等学校実技検査・面接

令和7年度 卒業証書授与式

期日 3月13日(金)
受付 8:10(体育館入口)
開式 8:50 ※8:40までに着席

完全下校時刻のお知らせ

2月1日~2月15日 17:30
2月16日~2月28日 17:45
3月1日~ 18:00

【 3月 の主な予定 】

- 3日(火) 卒業を祝う会(9組)
- 4日(水) 性の教育(3年)
認知症サポーター講座(1年)
- 5日(木) お別れ遠足(9組) 専門委員会
- 6日(金) 県公立高等学校入学許可候補者発表
- 9日(月)~19日(木) 9組教育相談
- 11日(水) 卒業式予行・祝う会
給食最終日(3年)
- 13日(金) 卒業証書授与式
※臨時休業日(1年)
- 17日(火) 保護者会(2年)
- 18日(水) 保護者会(1年) 給食最終日(1・2年)
- 19日(水) ふれあいデー
- 23日(月) 3時間授業 大掃除
- 24日(火) 修了式
- 25日(水)~ 学年末・春季休業日

4月7日(火) 準備登校
8日(水) 入学式・始業式